



神栖

神栖市市勢要覧 2019 A Profile of The City of Kamisu 2019

概要版

原点と未来
Origin & Future

茨城県 神栖市

神栖市市勢要覧 2019

原点と未来

目次

「神栖の今」を望む 4

神栖の原点 ～ The Origin of Kamisu ～ 6

ジーコ×市長対談

スポーツとまちづくりの未来を語る 10

スポーツツーリズム

スポーツタウン日本一を目指して 14

メイドイン神栖 18

神栖歳時記 20

議会と行政 21

关于发行

美丽的鹿岛滩和利根川河环绕在神栖市的周围，使之成为水资源丰富、气候温暖、绿树成荫、情趣盎然的绿都城市。利用这些自然的恩惠，神栖市的农业、渔业、以及商业，工业等各个产业都得到均衡发展，青椒的出货量为全国首位，水产加工制品等也是神栖的特产。除此之外，以鹿岛港为中心的鹿岛临海工业地带，分布着以石油化工为首的 180 多家企业，制造品出货量荣居茨城县第一位。

神栖市的城市建设，以共同创建大家喜爱的神栖市，让热爱神栖的人们充满整个城市为目标。在神栖城市建设方向性规划“共创神栖城市建设计划（第 2 次神栖市综合计划）”的指引下，确定了“大家共创新神栖”的城市未来面貌图，致力于建立一切以民为本、站在市民的立场和角度进行的城市建设。除了提供医疗、社会福利、灾害防御等与生活息息相关的各种社会支援外，还积极开展以“儿童教育日本第一”、“体育城市发展日本第一”为首的各类项目建设。伴随着令和这个新时代的开幕，神栖将与所有市民共同努力，创建充满安心感和城市魅力的未来都市。

通过本要览，希望能帮助您发现与感受神栖市独特的魅力。

2019 年 9 月
神栖市长 石田进

発行にあたって

広大な鹿島灘と利根川に囲まれた神栖市は、豊富な水資源と温暖な気候に恵まれ、各産業がバランス良く発達し、スポーツも盛んな潤いのあるまちです。この自然の恵みを生かし、全国一の出荷量を誇るピーマンや水産加工品などの特産品を産するほか、鹿島港を中心とした鹿島臨海工業地帯には石油化学をはじめとした180社余りの企業が立地し、茨城県で第1位の製造品出荷額を誇っています。

本市は、かみすを好きな人があふれるまちを目指し、まちづくりの方向性を示す「かみす共創まちづくりプラン（第二次神栖市総合計画）」において、市の将来像を「みんなで作る新しい神栖市」と定め、市民の目線に立った市民本位のまちづくりに取り組んでおります。医療・福祉・防災など、生活に密着した切れ目のない支援のほか、「子育て日本一」をはじめとする各種プロジェクトの推進、さらには「スポーツタウン日本一」を目指した取り組みなどを積極的に展開し、新たに幕をあけた令和という時代とともに、安心と魅力にあふれたまちづくりを市民の皆さんと進めてまいります。

この要覧が、神栖市の魅力を発見していただく一助となれば幸いです。

2019年9月

神栖市長 石田 進



Foreword

Surrounded by the Sea of Kashima and the Tone River, the City of Kamisu is verdant, comfortable town that is blessed with abundant water resources and a temperate climate. Kamisu has developed with a balance of economic activities, including farming and fishing which make use of the area's natural blessings, as well as trade and manufacturing, among other businesses. Kamisu produces a wealth of specialty foods such as marine products and ships more bell peppers than anywhere else in Japan. At the same time, there are over 180 petrochemical and other industrial companies that are located in the Kashima Coastal Industrial Zone that is centered around the Port of Kashima. Kamisu boasts the highest value of shipped manufactured products in Ibaraki Prefecture.

The city is putting efforts to become a town full of people with Kamisu pride. In the "Kamisu Co-Creation Plan for Town Development (Part 2 of the Kamisu Comprehensive Development Plan)", we established the city's future vision to "Building a new Kamisu City together." Through this plan, are working on citizen-based town development that sees through the eyes of the general public.

In addition to our seamless support that includes medical care, welfare, and disaster prevention, the city is actively engaged in expanding various projects such as becoming "Japan's Best City for Raising Children" and "The No. 1 Sports Town in Japan." Along with the dawn of the Reiwa Era, we will work with our citizens to promote town development full of reassurance and charm.

We hope this guidebook will help you discover the charm of Kamisu City.

September 2019
Susumu Ishida
Mayor of Kamisu

「神栖の今」を望む

きらめく海と川と風、

そして、長い歴史と力強い成長の軌跡。

神栖は、個性的な「かお貌」と独特のランドマークを有し、

世界と結び、未来へとつながっています……。

そこで、神栖の今の姿を眺めてみました。



風力発電



鹿島港上空



波崎上空



鹿島臨海工業地帯を望む



波崎海岸



神之池緑地



息栖神社

神栖の原点

命名の由来となった神之池と息栖神社は、水とともにあったこの地の歴史を象徴する存在です。

水に恵まれた広大な土地があったからこそ、世紀の大事業「鹿島開発」も実現しました。

水と砂丘に囲まれた農村・漁村の営みは、鹿島開発によって想像を超える変貌を遂げましたが、時を超えて受け継がれてきた文化遺産は、今も変わらぬ姿で共存しています。

この「神栖」に流れてきた豊かな時をたどります。

The name Kamisu derives from Gohnoike pond and Ikisu Shrine. They symbolize the historical connection this area had with water. At the base of the national project of the century "Kashima Development" lies a vast land blessed with abundant water. While the tranquil agricultural and fishing village surrounded by water and sand dunes had transformed drastically with the Kashima Development project, its cultural heritage passed down for centuries coexists in harmony to this day. We will trace the rich history of Kamisu.

神栖与水同在，神栖市の命名取自神之池和息栖神社，这两个地方是神栖历史的象征。正因为有水资源丰富的广阔土地，才实现了创世纪的大事业“鹿岛开发”。紧接着，通过鹿岛开发，被水和沙丘包围的农村・渔村的生活实现了超出想象的变化。同时，跨越了时间被继承下来的文化遗产，至今也以不变的身姿与神栖市的各种发展共存着。让我们来感受这片「神栖」的土地经历过的丰富多彩的时光吧。



営み



埋め立て前の神之池の風景



深芝浜の地引網漁



手子后神社の大潮祭

神之池がもたらした恵み

はるか遠い昔、鹿島灘や利根川から運ばれた砂が堆積し、やがて陸地となったことから、神栖市域にはどこまでも続く広い砂丘がありました。海に浮かぶ沖洲^{おきす}がなまって「息栖」、砂の陸地が刃先のように伸びたのが「波崎」の由来とも言われ、砂の山を「うずも」と呼び、砂地に黒松を植えたから「植松」など、地域の成り立ちを伝える地名が数多く残っています。

こうした土地にあって、豊かな水をたたえた神之池はまさに砂丘のオアシス。かつての神之池は、周囲約8キロメートル、面積約300ヘクタールと広大で、三角おにぎりの形をしていました。豊かな水は一千年以上も前から農業用水として土地を潤し、人々の営みになくてはならない存在でした。

半農半漁のまち

池畔や海岸沿いの人々は半農半漁で生計を立てていましたが、砂丘地帯を畑地や水田に変えるには大変な苦労がありました。江戸時代の新田開発の時代には、砂地を掘って「掘下げ田」と呼ばれる独特の水田が作られました。

昭和20年代には砂質の畑地でサツマイモや麦が育てられ、戦時中はデンプン製造のためのサツマイモ生産が盛んになり、「デンプン王国」と呼ばれるほ

ど数多くのデンプン工場が集中していました。

一方、農家の副業として盛んに行われていたのが養蚕です。日川には養蚕発祥の伝説が残る蚕霊神社があり、明治時代末頃は繭の生産が水産物を追い越すほどだったといえます。

また、波崎地域ではイワシを中心とする地引き網漁やタコ漁、ハマグリ漁などで豊富な漁獲量を誇り、水産加工業も発展しました。手子后神社は昔も今も、航海の安全や豊漁を祈願する人々の信仰を集めています。

「波崎」「神栖」の地名が誕生

このような営みを背景に、神栖市域の村々が合併してより大きな村へ、そして町へと変わっていきます。昭和3年（1928）、東下村が町制を施行し「波崎町」が発足。昭和30年（1955）に軽野村と息栖村が合併し、この地域のシンボルである神之池と息栖神社から「神栖村」の村名がつけられました。その後、昭和45年（1970）に町制施行、平成17年（2005）には合併して神栖市が誕生しました。



網元をしていた漁家の山本家住宅

鹿島開発



埋め立て中の神之池



鹿島港開発風景



神之池埋め立て風景

絶好の立地条件

昭和30年代後半、この地に劇的な変化が訪れます。海と川に囲まれた農業と漁業のまちに、大型の建設機械が行き交い、工事の槌音が響きわたりました。世紀の大事業「鹿島開発」です。

日本が高度成長期を迎えた昭和30年代、新しい工業地帯の開発が求められていました。その建設地に鹿島エリアが選ばれたのには、大きく3つの理由があります。1つ目は鹿島灘に面した広大な土地があったこと、2つ目は霞ヶ浦・北浦など豊かな水資源があったこと、3つ目は首都圏に近かったこと。つまり、新しい臨海工業地帯として絶好の条件を兼ね備えていたからです。

夢を形にした「鹿島港」

昭和38年（1963）に鹿島港の起工式が行われ、翌年から用地買収がスタート。この時、独特な用地取得法「6・4方式」（鹿島方式）が採用されました。これは、地権者に所有する土地の4割



ベルコン通り

の1割を国が買収し、残りの3割は地権者に所有する土地の4割

を提供してもらい、6割を再配分するというものです。

昭和40年（1965）に中央航路の掘り込み工事を開始。鹿島港は、陸地を掘り込んで作る「掘込式港湾」です。従来の「埋立式」とは違い、経験したことのない技術的な困難を克服しながら工事が進められました。

そして昭和44年（1969）、10万トン級の大型船舶が入港できる世界有数の掘込港が完成。開港記念式典が盛大に挙行されました。ついに、鹿島エリア発展の象徴となる鹿島港が実現したのです。

工業都市へと生まれ変わった神栖

鹿島港建設と歩調を合わせ、工業用地の造成も着々と進められました。昭和42年（1967）には神之池の埋め立てが始まり、池の大きさは約7分の1となりました。

工業用水道・下水道、電力送電線などの建設も急ピッチで進められ、昭和45年（1970）には国鉄鹿島線と鹿島臨海鉄道が相次いで開通。日本を代表する企業が続々と進出し、それとともに人口は増え続け、町の財政規模も増大、町民1人あたりの所得は県内上位となりました。加えて、教育文化施設や公園緑地の充実度も県平均を上回るまでに成長。鹿島開発により生まれ変わった神栖は、我が国有数の工業都市へと発展を遂げました。

息栖神社



社殿



神門



一の鳥居

由緒ある東国三社の一つ

神之池とともに「神栖」の地名の由来となった息栖神社。もともとは利根川の航行の安全を祈願する神社として日川に置かれましたが、大同2年(807)に息栖に遷されたと伝えられています。ご祭神の久那戸神(岐神)は路の神・井戸の神、天鳥船神は交通守護の神、住吉三神は海上守護の神と、いずれも水や交通に関わる神で、地域で厚い信仰を集めました。

近年、東国三社詣やパワースポット巡りで息栖神社への注目が高まっています。大ブームが起こっていました。そもそも東国三社というのは、鹿島神宮、香取神宮、息栖神社の総称です。なぜ息栖神社が、全国的に有名な鹿島神宮・香取神宮と並び称されたのかというと、「国譲り」神話で、鹿島神宮と香取神宮の神々を息栖神社の神が道案内したとされているからです。

歴史を今に伝える佇まいと祭り

息栖神社で古くから有名なのが、一の鳥居の左右にある「忍潮井」で、日本三霊泉の一つとされています。千年以上もの間、井戸に据えられた男瓶・女瓶から清水が湧き出しているとされ、潮をおしのけて清水が湧くことから忍潮井と名付けられました。井戸を覗き込んで瓶が見えると幸運が訪れるといわれています。

現在の神門は江戸時代の弘化4年

(1847)、社殿は昭和38年(1963)に建てられたものです。樹齢約千年と推定される御神木の夫婦杉や、精霊が宿る招霊の木も葉を茂らせています。

息栖神社では、さまざまな祭事が今に受け継がれています。なかには、12年に一度の鹿島神宮「御船祭」で息栖神社の船が先導役を務めるなど、東国三社のつながりが色濃くあらわれる祭事もあり、歴史の奥深さを感じることができます。



息栖河岸



江戸時代を復元したジオラマ



旧社殿

スポーツとまちづくりの未来を語る



神栖市長

鹿島アントラーズテクニカルディレクター

石田進 × ジーコ

神栖市は、鹿島アントラーズのホームタウンとして、また年間約30万人が訪れるスポーツ合宿の聖地として全国に知られています。東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けスポーツへの関心が高まる今、鹿島アントラーズテクニカルディレクター（TD）のジーコ氏と石田進市長が、スポーツを通じたまちづくり・人づくりをテーマに、市民や選手への思い、未来の可能性などについて語り合いました。

ホームタウンとの絆

石田市長 今日ジーコさんとの対談が実現し、大変うれしく思っております。どうぞよろしく願っています。

ジーコTD こちらこそ光栄に思うとともに、クラブハウスにお越しいただきに感謝しております。私が初来日したときに宿泊したのが鹿島セントラルホテルです。その時から神栖市とはご縁があります。今回、神栖市の皆さんに向けてお話しできるのを楽しみにしていました。

石田市長 昨シーズン（2018年）は鹿島アントラーズが見事アジアチャンピオンに輝き、神栖市民はみんな喜んでいました。誠におめでとうございます。

ジーコTD ありがとうございます。

石田市長 実は序盤戦で厳しい試合が続く鹿島アントラーズを、心配していたんです。しかしジーコさんがテクニカルディレクターに就任されたとたん、見違えるほどの快進撃が繰り広げられました。

ジーコTD 決して私一人で成し遂げたわけではありません。鹿島アントラーズのスタッフには「みんなでやり遂げるといふ気持ちで、自信を持って取り組んでほしい」と、また選手たちには「自分の能力を信じてプレーすれば、自ずと結果はついてくる」と伝えました。個の自信が高まれば、チームとして非常に大きな力を発揮できます。それぞれが自分の役割を意識して取り組んだ結果、皆さんが

Discussing the Future of Sports and Town Development

Susumu Ishida Mayor of Kamisu

Zico Technical Director of Kashima Antlers

Kamisu City is known throughout Japan as the hometown for Kashima Antlers and also as a mecca for training camps where about 300,000 people visit annually. One of the main reasons that attract visitors to Kamisu is that the city has an excellent environment to enjoy both watching and playing various types of sports. Now, there is a growing interest in sports as Kashima Antlers wins the first ever Asian Championships League title and with the upcoming Tokyo 2020 Olympics and Paralympics. This is the perfect opportunity for Kamisu to let the world know about its attractive city. Here, Zico, the technical director of Kashima Antlers and Susumu Ishida, the mayor of Kamisu share their feelings toward the citizens and the players as well as their ideas on the future possibilities for Kamisu City as they discuss on the topic of town development and human development through sports.

讲述体育与城市建设的未来

神栖市市长 石田进 × 鹿岛鹿角足球队技术总监 济科 神栖市，作为鹿岛鹿角足球俱乐部的主场，同时也作为每年约有30万人访问的体育集训圣地而享誉全日本。能够充分享受“竞技的乐趣”和“观看的乐趣”的运动环境，是神栖市的一大魅力。现在是鹿岛鹿角足球队首次称霸亚洲的光辉时刻，同时也是社会对东京奥林匹克运动会、残疾人奥林匹克运动会的关注高涨的重要时期，正是重新凝视神栖城市魅力，扩大城市宣传的绝佳机会。因此，鹿岛鹿角足球队技术总监（TD）济科先生和石田进市长，以体育创建城市、培育人才为主题进行了谈话，讨论了对市民和选手的所想，以及关于未来的可能性等问题。



スタンドに掲げられるフラッグ



現役時代のジーコ選手(鹿島アントラーズ)

待ち望んでいたアジアチャンピオンのタイトルを手にすることができたわけです。

石田市長 「ジーコイズム」と称されるジーコさんの考え方は素晴らしい、私もまちづくりを進める上で大変参考にしております。今後も鹿島アントラーズの活躍を神栖市民みんなで応援していきます。

ジーコTD いつも大勢の神栖市民がカシマサッカースタジアムに会場し、鹿島アントラーズを応援してくださるのは何よりありがたいことです。鹿島アントラーズはホームタウンの皆さんのおかげで成立しているクラブであり、ホームタウン、クラブ、サポーターが力を合わせてここまでできました。私は選手たちに、「ホームタウンを誇りに思い、その期待に応えるためピッチで全力を尽くしてほしい」と常に求めており、今後も皆さんと共に歩んでいきたいと思っています。加えて、神栖市のまちづくりが成果をあげて、心から応援しています。

スポーツのまちづくり

石田市長 ここで改めて、ジーコさんに神栖市をご紹介させていただきます。神栖市の人口は約9万5千人で、鹿島臨海工業地帯の中心に位置しています。製造品出荷額は茨城県で第1位。それからピーマンの出荷量が日本一ですし、今話題のサバ、イワシの水揚げ量も県内一です。これら工業・農業・水産業に加えスポーツを盛り上げようと、スポーツの

まちづくりを進めています。

ジーコTD とても魅力的ですね。工業・農業・水産業で1位、さらに神栖市がスポーツの分野、特にサッカーでも1位になることを願っています。

石田市長 実は神栖市にはサッカー場が約100面あり、サッカー合宿が盛んなまちとして全国に知られています。

ジーコTD サッカー合宿については、高校でコーチをしているブラジル人の知り合いに、「よく神栖市で合宿をしていて、施設が充実している」と以前から聞いていました。

石田市長 この神栖市に、全国から小・中・高校生、大学生、社会人などあらゆる世代の皆さんが集まってもらい、「いつでも練習ができる」「いつでも交流試合ができる」「いつでも指導者がいる」「いつでも体のメンテナンスができる」というようなスポーツのまちづくりを、サッカーを中心にイメージしています。

ジーコTD 100面のサッカー場を利用して神栖市で優秀な選手が育ち、やがて鹿島アントラーズで活躍してくれることを心待ちにしています。機会があれば、ぜひ神栖市のサッカー場へ選手たちのプレーを見に行きたいですね。

石田市長 それは楽しみです。神栖市はこれだけサッカーの環境が整っているのですから、『ジーコカップ』と銘打って、日本一のサッカー大会を開催するというのはいかがですか？



ロングパイル人工芝ピッチを有する矢田部サッカー場



アジアチャンピオンという偉業を成し遂げた鹿島アントラーズ

ジーコTD 私個人として、この場を借りて『ジーコカップ』開催を許可しましょう(笑)。現実には、鹿島アントラーズの許可を得る必要がありますが……。もし開催が実現したら、開幕のキックオフと決勝のトロフィーあるいはメダルの贈呈を私が担当しましょうか？

石田市長 願ってもないことです(笑)。大いに盛り上がるでしょう。

ジーコTD スポーツを通したまちづくりは素晴らしい取り組みです。この機会に一つ提案があります。スポーツだけではなく、それ以外の娯楽も一緒に楽しめればもっとまちの魅力が高まるのではないのでしょうか。海外的な発想ですが、例えばサッカーの後にショーを見たり映画館に行ったりするということのように。

石田市長 それは良いですね。一つ新しいニュースがあります。かみす防災アリーナが今年(2019年)6月に完成します。最大で5000人を収容できるアリーナで、館内には音楽ホールや温水プールもあり、スポーツと文化の両方を楽しめます。ジーコTD それはグッドニュースです。かみす防災アリーナで注目を集めるイベントが開催されることを願っています。

2020年に向けて新たな一歩

石田市長 いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック大会が間近に迫りました。神栖市はチュニジアのオリンピック委員会と事前キャンプの協定(※)

を結び、迎える準備に入っています。ジーコTD それでは私も今日からチュニジアを応援することにしましょう(笑)。実は、私はスペシャルオリンピックピックス大使を務めています。現役時代から障害者スポーツの振興に取り組み、引退後はブラジル初のスポーツ大臣として障害者スポーツの部署を新設し、普及活動に乗り出しました。非常に優れた人たちが障害

者スポーツの選手として活躍しており、人間教育という面でも大きな意味があると考えています。リオオリンピックに続いて開催されたリオパラリンピックも素晴らしい大会でした。多様な障害者スポーツ競技が実施されるのは喜ばしいことです。神栖市としても何らかの形で第一歩を踏み出していただけのように、スペシャルオリンピックス大使としてお願いします。

石田市長 今年のいきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会の競技会場として、障害者グラウンド・ゴルフの全国大会を開催します。ジーコさんがおっしゃられた障害者スポーツに加え、これまでも神栖市では「健康長寿」を目指した生涯スポーツに力を入れてきました。誰もがより一層気軽にスポーツを楽しめるよう、環境を整えているところです。

スポーツを通した人づくり

石田市長 今日ジーコさんにお目にかかり、対談という貴重な時間をいただいて強く感じたのは、ジーコさんの考えを一人でも多くの子どもや選手に伝えたいということ。それを、スポーツを通した人づくりにつなげていきたいと思っています。

ジーコTD スポーツにはアスリートを育成する目的もありますが、やはり石田市長がおっしゃるように入づくりを忘れてはなりません。アスリートである前に、立派な社会人であることが重要です。サッカーは、人づくりにおいて非常に重要なスポーツと言えます。なぜなら、ピッチに入ったらルールに則って勝負をし、その中で仲間を尊重し、相手を尊重し、レフェリーを尊重しなければなりません。そこから非常に多くのことを学ぶことができます。プロアスリートになれなくても、基本的なルールを守る精神はどの分野でも生かされますし、それによって素晴らしい社会、素晴らしい未来を手にする



サッカーは人づくりにおいて重要なスポーツと言える。

——— ジーコTD

地域づくりは人づくりだと思っている。

——— 石田市長



神栖市スポーツレクリエーション祭2018

ることができません。スポーツを通じた人づくりが実を結び、将来、明るい日本、明るい神栖市になるよう願っています。

石田市長 非常に分かりやすくお話しいただき、感銘を受けました。私自身、地域づくりは人づくりだと思っており、スポーツを通していかに子どもたちの健全育成につなげていくか、いかにしっかりととした考え方を持つ青少年を育てていくかが重要だと捉えています。

ジーコTD サッカーというスポーツは個人の能力がズバ抜けていてもダメで、個人の能力がチームのために機能しなければ何の意味もありません。チームとして周りを意識しながらプレーすることが求められ、ルールを守りながら集団で成し遂げることが重要です。そういうサッカーを子どもの頃から続けていくうちに、両親も深く興味を持つようになり、家族の結束も強まっていく。その家族がまた別の家族を手伝うようになることで、社会づくりにも貢献していけるのではないのでしょうか。そういう意味でも石田市長の取り組みは非常に素晴らしいものです。

石田市長 ありがとうございます。温暖な気候に恵まれた強みを生かし、スポーツ環境をさらに整えることで、全国からジーコファンが集まってくるようにしたいと思っています。そのためには、ジーコさんの精神を、スポーツを通じた神栖市のまちづくり・人づくりに生かしていきます。
ジーコTD どんなに難しくても、信じて



鹿島アントラーズクラブハウス

市内には約100面のサッカーグラウンドがある

鹿島アントラーズによるサッカー体験教室

鹿島アントラーズテクニカルディレクター ジーコ

1953年ブラジル・リオデジャネイロ生まれ。ブラジル代表としてFIFAワールドカップに3度出場した世界的なスター選手。ブラジル最優秀選手、南米年間最優秀選手をはじめ多数のタイトルを獲得。通算1180試合、831ゴールを誇る。1991年に来日し、1993年には鹿島アントラーズをJリーグ(サントリーシリーズ)初優勝に導く。2018年に再来日し、鹿島アントラーズのテクニカルディレクターに就任。

Zico Technical Director of Kashima Antlers/Born in 1953 in Rio de Janeiro. Regarded as one of the greatest football players worldwide, he represented Brazil in FIFA World Cup 3 times. Accomplishments include the Bola de Ouro and the South American Footballer of the Year. He scored a total of 831 goals in 1,180 matches. Zico came to Japan in 1991 and led the Kashima Antlers to their first victory in the J.League (Suntory Series) in 1993. In 2018, he returned to Japan and became the technical director for Kashima Antlers.

鹿島鹿角足球队技术总监 济科 /1953年出生于巴西里约热内卢。作为巴西代表曾三次出赛FIFA世界杯的世界级明星选手。获得了巴西最优秀选手、南美年度最优秀选手等众多荣誉。总计参加1180场比赛，以831颗进球闻名世界。1991年来日本，1993年领导了鹿岛鹿角足球队在日本职业足球联赛(三得利系列)的首次优胜。2018年再次来日本，就任鹿岛鹿角足球队的技术总监。

取り組みば夢を叶えることができる。それが私の信念であり、石田市長も同じだと思えます。今日は神栖市のさまざまなプロジェクトについて伺い、私も何らかの形で手助けしたいという気持ちになりました。自分の隣人には幸せでいてほしいので、ぜひ神栖市の皆さんにも幸せになってほしい。そのために貢献したいと思います。

石田市長 ジーコさんはみんなの宝です。今日は本当にありがとうございます。

ジーコTD こちらこそありがとうございました。

※「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプに関する基本合意書」(2018年11月締結)※対談は2019年4月に実施しました

スポーツ ツーリズム

スポーツタウン日本一を目指して

「神栖でスポーツ合宿をしよう!」

「注目の試合を見に神栖へ行こう!」と、

全国から大勢の人が神栖市を訪れます。

一年を通して温暖な気候に恵まれ、

約100面のサッカー場をはじめスポーツ施設が充実し、

マリンスポーツも楽しめる絶好の環境。

全国的にスポーツツーリズムへの関心が高まる今、

「競う」「観る」「支える」という3つの視点から、

神栖市の誇るスポーツ資源に迫ります。



Aiming to Become the Top Sports Tourism Destination in Japan
"Let's have a training camp in Kamisu!"

"Let's go to Kamisu to watch the game everyone's talking about!"

Hundreds of thousands of people visit Kamisu from all over the country. Blessed with a mild climate throughout the year, Kamisu has the best facilities for sports with about 100 soccer fields and an excellent environment for enjoying marine sports. Currently, sports tourism is gaining attention throughout the country. We will look into the sports resources Kamisu takes pride in from 3 different perspectives: compete, watch, and support.

体育旅行

以成为日本第一的体育运动城市为目标
因为例如“在神栖进行运动集训吧!”“去神栖看喜爱的比赛吧!”等原因,每年有很多人从全国各地来到神栖市。这里一年四季气候温暖如春,这里还拥有约100个足球场等种类丰富,装备齐全的体育设施,而且还是享受海上运动的绝佳地点。在全国人民对体育旅行高度关注的今天,我们从“竞赛”“观看”“支持”三个角度出发,探讨神栖市引以为豪的体育资源。



支える



観る



競う

競う

観る 支える

芝生グラウンドが豊富にあり、さまざまなスポーツの合宿や大会開催地となっている——



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

- ①全国から強豪が集うサッカー大会
- ②・⑤テニスコート24面を備える神栖海浜庭球場
- ③神栖海浜野球場
- ④マリンスポーツが楽しめる海岸
- ⑥武道館柔道場
- ⑦はさきさわやかランニング大会
- ⑧武道館弓道場

サッカー合宿の聖地

神栖市は全国に知られるスポーツ合宿の聖地で、年間約30万人が訪れます。有名になったきっかけは、波崎旅館業協同組合の二十数軒が、それぞれ専用グラウンドを整備したこと。年間を通して練習できる温暖な気候で、宿の近くにグラウンドがあり、他チームと練習試合が組みやすいなど、理想的な環境が整っていることから人気の合宿地となりました。

サッカーが盛んな神栖市には、現在、官民合わせて約100面にもものぼるサッカー場があります。サッカー合宿が盛んで、有名な強豪チームも合宿や練習試合をしています。

また、天然芝のグラウンドはラグビー、アメリカンフットボール、フットサル、ラクロス、アーチェリーなどにも活用が可能。さらにテニスコート、野球場、体育館な

ども充実しており、スポーツ合宿は幅広い競技に広がっています。

充実したスポーツ施設

市内各所にスポーツ施設がある神栖。

神之池緑地は、陸上競技場、体育館、武道館、野球場、テニスコートなど、スポーツ施設に囲まれたエリアです。

海浜運動公園には、県内屈指の規模を誇る24面ものテニスコートをはじめ、サッカー場、野球場、ソフボール場、温水プールなどが集まっています。

ほかにも、矢田部サッカー場、若松運動場、波崎体育館、豊ヶ浜運動公園などが整備されています。

さまざまな大会

市内のスポーツ施設で数多くの大会が開催されています。「波崎ユースカップサッカー大会」と「横山杯全国ユースサッカー大会」は、ユース世代のトップチームも参戦する国内有数の大会です。

「神栖市はさきさわやかランニング大会」は、波崎海水浴場や波崎漁港周辺の平坦なシーサイドコースで、市民ランナーに人気です。これからもさまざまなスポーツ大会を誘致・開催し、スポーツタウン日本一を目指します。

観る

競う

支える

プロスポーツなどのハイレベルな試合が観戦できるまち
神栖——



1



2

© IRSE AkihideTOYOSAKI



3



4

© KASHIMA ANTLERS



5

© IRSE AkihideTOYOSAKI



6



7



8

- ①・③茨城アストロプラネッツ
- ②・⑤サイバーダイナミクス茨城ロボッツ
- ④鹿島アントラーズ
- ⑥茨城波崎 SURFING GAMES
- ⑦グラウンド・ゴルフ(いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会)
- ⑧テニス(いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会)

鹿島アントラーズ ホームタウン

初のアジアチャンピオンに輝くなど、目覚ましい活躍が続く鹿島アントラーズ。試合観戦の醍醐味は、応援の熱気でスタジアムが一体となること。でもホームタウンの楽しみは、それだけではありません。市内のサッカー場、イベント、学校、お店や公園などで選手たちと会えるチャンスも。サッカーファンにはたまらない、Jリーガーと身近にふれあえるまちです。

2つのフレンドリータウン

一つ目はBリーグプロバスケットボールチームの「サイバーダイナミクス茨城ロボッツ」。2013年に誕生しB2リーグ制覇・B1昇格を目標に活躍しています。二つ目

は「茨城アストロプラネッツ」。茨城県内を本拠地として2019年からプロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグで活躍するプロ野球球団です。プロスポーツならではのハイレベルな試合が、かみす防災アリーナと神栖海浜球場を舞台に繰り広げられます。

オリンピックイヤーに向けて

鹿島アントラーズのホームグラウンドであるカシマスタジアムが、東京2020オリンピック競技大会のサッカー会場に決定。国内7会場のうちの1つです。男子サッカー・女子サッカーとも、一次ラウンドに加え準々決勝、準決勝など注目度の高いゲームが行われます。

もう一つ話題を集めているのは、今大会でサーフィンが初めて正式種目になったこと。波崎海岸はサーフスポットとして有名で、30年以上前からサーフィン大会が開催されてきました。オリンピックを機に、より多くの人にサーフィンに親しんでもらおうと盛り上げています。

ほかにも、ユニバーシアードオリンピック委員会と事前キャンプの基本合意書を締結するなど、着々と準備を進めています。

支える

舞台裏では施設を管理する人やボランティアなど、さまざまな人がスポーツを支えている——

競う

観る



芝生を管理する

波崎旅館業協同組合 代表理事 青野竜也さん

天然芝のサッカー場を求めて全国から訪れる人たちのために、芝刈り、傷んだ芝の張り替え、くぼみの補修などこまめな手入れが欠かせません。また、一年中緑の芝生を維持するため、秋に夏芝の上から冬芝の種をまいて春ごろまで緑のグラウンドを保ち、春先には冬芝をわざと枯れさせて夏芝が育ちやすいように工夫しています。合宿や大会で訪れた学生さんから「緑だ〜!」と歓声が上がり、練習や試合に満足してもらえた時に大きなよろこびを感じます。



合宿所で快適な環境をつくる

波崎旅館業協同組合 婦人部長 ミンジョンやまざき 山崎早苗さん

一番の願いは、皆さんがケガなく無事に合宿を終えて帰ること。大切な命を預かる仕事なので、24時間気が休まることはありません。スタッフの勉強会を年に4回実施。食事は衛生面を最優先に調理し、アレルギー対応食も用意しています。サッカー合宿に来た小・中・高・大学生が館内に一堂に揃う瞬間は感動の一言。少年のころ合宿に来た子が監督として生徒を引率してきたときは、ジーンときました。気持ちは「はさきの母」。この仕事を通してたくさん素敵な出会いに恵まれました。



サーフボードをつくる

サーフボードショップLAP-BEAT 高梨一男さん

40年近く前、自分に合うボードを作ろうとしたのが始まり。人によって乗りやすい形は少しずつ違います。材料を削って形にして、実際に乗って確かめて、調整する。その作業を延々と繰り返し、形が決まったらプラスチックを巻いて磨きをかけて完成。これまでに作った総数は1,000枚を超えます。ボードとの出会いは大事ですが、ボードが良ければサーフィングが上達するとは限らないのが難しさ。何年やっても終わりのない世界です。



made in Kamisu

メイド イン 神栖

Made in Kamisu

The abundant water resources of the Pacific Ocean and Tone River enrich all industries in Kamisu. Let's look at how the industries of manufacturing, agriculture, and fishery have continued to develop while coexisting in this city.

产自神栖——made in Kamisu

太平洋和利根川丰富的水资源，滋润着神栖市的所有产业。在这个城市里一边共存一边持续发展的「工业」「农业」「渔业」，现如今发展迅猛，让我们来看一下这里各行各业的发展吧。

太平洋と利根川の豊かな水資源は、
神栖市のすべての産業をうるおしています。
このまちで共存しながら発展し続ける
「工業」「農業」「漁業」の今に迫ります。



貨物船から荷揚げされた穀物は巨大なサイロへ運ばれる



鹿島港から各工場までベルトコンベアでつながっている



首都圏をはじめ全国各地へ飼料製品が輸送される

東京から約80キロメートルに位置する鹿島臨海工業地帯。鉄鋼、石油化学、飼料などの各コンビナート群が形成されています。約180社の企業が集まり、総従業員数は約2万人。
実は地元でもあまり知られていませんが、配合飼料の製造で日本一。年間約420万トンの配合飼料が製造されています。



日本最大級の飼料コンビナート

工業

made in Kamisu

世界へつながる
鹿島臨海工業地帯

巨大タンカー、煙突群、穀物サイロ、製油所など、どこを見てもスケールの大きさに圧倒されます。

農業

made in Kamisu

ピーマンと 千両・若松 神栖で育つ “日本一”

みずみずしくて苦味が少なく、生でバリバリ食べられる安全でおいしいピーマン。日本の正月を飾る千両・若松とともに、出荷量全国一位を誇ります。



ピーマン

農薬の使用を減らし、環境にやさしい農業に取り組んでいる。また、ミニパプリカも生産されている。



若松

日本一の出荷量を誇る若松。12月に最盛期を迎える。



千両

「かくや」でおおわれる千両畑。選定は一本一本、手作業で丁寧に行われる。



まき網漁業

魚の群れを長さが約1,400メートルもある大きな網で取り囲み、網の底を狭めて引き揚げる漁法。



made in Kamisu

漁業

サバの水揚げ 日本有数の波崎漁港 “県内一”

ここ数年、青魚が注目され、サバ缶ブームが起きています。実は、それを陰で支えているのが波崎船団。ダイナミックなまき網漁業や多彩な水産加工品など、神栖市は“全国に誇る漁業のまち”という顔を持ちます。



大潮祭

手子后神社の祭礼。航海の安全と豊漁を祈願する。



鹿島灘はまぐり

身がふっくらとして弾力があり、噛めば噛むほど旨味があふれ出る。

Kamisu event calendar

1月	初詣	息栖神社・手子后神社	1月上旬
毎年多くの参拝客が訪れます。			
2月	神栖市はさきさわやかランニング大会	波崎体育館周辺	2月下旬
風車を眺めながら2・3・5・10kmの4つのコースで競う長距離走大会です。			
3月	神栖市2輪ビーチレース大会	日川浜海岸	3月下旬
迫力ある2輪オフロードバイクのレースです。関東を中心に多くの参加者が集まります。			
4月	かみす桜まつり	神之池緑地	4月上旬
神之池周辺には約3,000本の桜の木が立ち並び、お花見を楽しむ人たちが賑わいます。期間中の夜は桜の木のライトアップもあります。			
5月	港公園わくわく体験フェア	港公園	5月下旬
親子で緑に親しめる体験イベントや展望塔無料開放、花苗無料配布など催しものもりたくさん！			
7月	海水浴場開設	日川浜海水浴場・波崎海水浴場	7月中旬～8月中旬
遠浅で広い砂浜が広がる2つの海水浴場。海岸線には風車が立ち並びます。			
	かみすみなと祭り	大野原商店街	7月下旬
華やかな山車や神輿が登場し、商店街が活気に包まれます。			
	大潮祭	手子后神社	旧暦6月15日に近い土曜日、日曜日
航海の安全や豊漁を祈る、海の男たちの祭りです。この日は、波崎の漁船は出漁をやめて大漁旗をかざり、乗組員は神社に参拝します。			
8月	かみす七夕まつり	知手すずらん・港南通り	8月上旬
盆踊り、子ども神輿などイベントが目白押し。通りには華やかな七夕飾りが飾られます。			
	茨城波崎SURFING GAMES	波崎海岸	8月中旬
全国各地からサーファーが集まり、華麗な波乗りを披露します。			
	きらっせ祭り	波崎海水浴場およびサンサンパーク周辺	8月下旬
みこしパレード、花火などイベントもりたくさん！			
9月	かみす^ぶ舞っちゃんげ祭り	神栖中央公園	9月中旬
神栖のまちがよさこいで盛り上がります。全国から有名チームも参加します。			
	神栖花火大会	神之池緑地	9月中旬
神之池から打ち上がる約6,000発の花火が夏の夜空を彩ります。			
10月	かみすフェスタ・消費生活展	神栖中央公園・かみす防災アリーナ	10月中旬
神栖市の農業・漁業や地元企業などのブースがもりたくさん。楽しく学ぶことができます。			
	芸術祭	文化センター	10月中旬
絵画、陶芸、写真などの作品展示のほか、バザーやお茶会もあります。			
	菊花展	文化センターなど	10月下旬から11月中旬
立菊や懸崖、7本立など、大輪の菊の花が一堂に会します。			
12月	毎日新聞社杯波崎ユースカップサッカー大会 横山杯全国ユースサッカー大会	矢田部サッカー場および市内民間グラウンド	12月下旬
全国各地の高校生チームによるサッカー大会です。			

全国から笑顔が集う

神栖歳時記

神栖は一年中、楽しいことがいっぱい
大勢の人が訪れ、素敵な思い出がつくれます

議 会 と 行 政



議場(議員席)



議長
藤田昭泰

副議長
後藤潤一郎



〈三役〉教育長
新橋成夫

市長
石田進

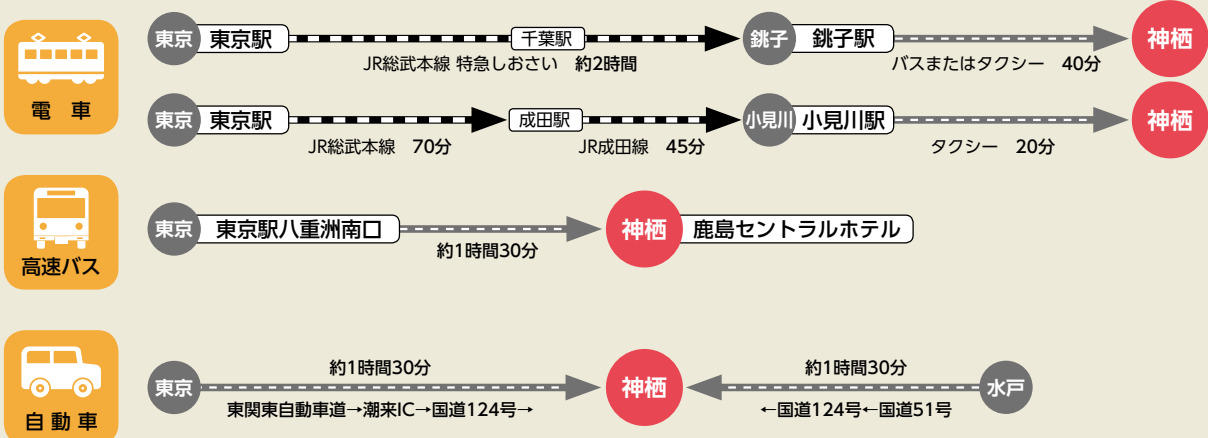
副市長
石川祐治

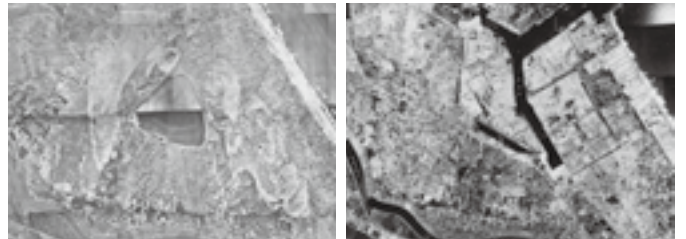


議場(執行部席)



アクセス





神栖市市勢要覧 2019 概要版

発行 茨城県神栖市
〒314-0192 茨城県神栖市溝口4991-5
TEL 0299-90-1111 (代表) FAX 0299-90-1112
<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/>

発行日 令和元年9月

編集 市民協働課

制作 株式会社エリート情報社

A Profile of The City of Kamisu 2019

Issued in September 2019

Issued by the City of Kamisu, Ibaraki Prefecture
4991-5 Mizoguchi, Kamisu, Ibaraki, 314-0192, Japan
Phone: 81-299-90-1111 Facsimile: 81-299-90-1112

神栖市市況要覧 2019

2019年9月発行

茨城県神栖市発行

邮编 314-0192 茨城県神栖市沟口 4991-5
电话 81-299-90-1111 传真 81-299-90-1112